

中学1年 国語 「方言と共通語」

ねらい

- ・共通語と方言のそれぞれの役割や活用場面について考えることができる。
- ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

学習展開（3時間）

1時間目

「方言と共通語の特徴は何？」

単元の目標と見通しを確認した後、教科書を使用し、方言と共通語の特徴を確認する。

2時間目

「グループで方言クイズを作成しよう！」

様々な地域の方言に触れることを目的とし、3～4人の小グループに分かれ、地域ごとに方言クイズを作成する。

3時間目

「みんなで方言クイズを解き合おう！」

前時に作成したクイズを発表し合い、地域による言葉の多様性を理解するとともに、共通語と方言とを時と場合に応じて使い分けることができるようになることを確認する。

指導のポイント

・単に「方言クイズ」を作成して盛り上がるのが目的ではなく、「何のために」この活動を行うのか（地域による言葉の多様性に触れ、共通語と方言のそれぞれの役割を考える）を伝えた。

<方言クイズ作成の手順>

- ・各グループに、以下の地域の中から1つ選択をさせた。北海道、東北地方、関東地方、北陸地方、中部地方、近畿地方、四国地方、中国地方、九州地方、沖縄
- ・書籍を活用して担当地域の方言を調べ、クイズを作成するよう指示した。その際に、グループの中で、さらに県を分けてもいいこと、担当地域の方言の特徴もまとめることを伝えた。
- ・クイズは例文を考えて出すこと、答えを3択で用意することを教師側が例を示して作成ゴールをイメージさせた。



2時間目
授業中の様子



学校図書館との関わり

- ◇学校司書に依頼し、地域別の方言の本を、1人1冊手元にいきわたるくらいの冊数を用意してもらった。
- ◇パワーポイントで作成したクイズをまとめたのだが、スライドの最後に参考文献の記載をするよう、司書とともに記載の仕方も含めて指導した。
- ◇授業後に、作成したクイズの一部と本の展示を階段の踊り場に行った。